

令和5年度

決算説明資料

令和6年10月10日

上下水道局

目 次

[水道事業会計]	頁
1 水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について……………	1
2 水道の水源施設建設負担金について……………	2
[工業用水道事業会計]	
3 工業用水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について…	3
4 工業用水道の水源施設建設負担金について……………	4
[下水道事業会計]	
5 下水道未整備地域について……………	5

1 水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について

(1) 水需要予測

(単位 万 m^3 /日)

目 標 年 次	27年度
一日最大給水量	124

(2) 給水実績

区 分	4年度	5年度
一日最大給水量 (万 m^3 /日)	82.2	79.3
年間給水量 (万 m^3 /年)	27,020.0	27,081.4

(3) 河川ごとの給水可能量

(単位 万 m^3 /日)

区 分	木曽川	長良川	揖斐川	計
水利権の給水可能量	160.6	16.1	8.0	184.7
10年に1回程度の 渇水年の給水可能量	106.3	12.1	5.7	124.1
平成6年渇水相当の 給水可能量	81.6	4.8	3.0	89.4

2 水道の水源施設建設負担金について

(単位 百万円)

区 分	5 年 度	5年度までの 累 計 額
揖 斐 川	1, 4 1 2	3 4, 6 1 6
徳 山 ダ ム	1, 4 0 4	3 4, 4 1 0
木 曽 川 水 系 連 絡 導 水 路	8	2 0 6

3 工業用水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について

(1) 水需要予測

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

目 標 年 次	27年度
給 水 量	97,000

(2) 給水実績

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

区 分	4年度	5年度
一日平均給水量	63,382	62,949

(3) 河川ごとの給水可能量

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

区 分	庄内川	揖斐川	計
水利権の 給水可能量	93,000	56,000	149,000

(注1) 庄内川からの取水は、かんがい期に限られる等の課題がある。

(注2) その他の水源として、河川の他に下水処理水等がある。

4 工業用水道の水源施設建設負担金について

(単位 百万円)

区 分	5 年 度	5年度までの 累 計 額
揖 斐 川	4	1 1, 0 2 4
徳 山 ダ ム	—	1 0, 9 3 2
木 曽 川 水 系 連 絡 導 水 路	4	9 3

(注) 端数処理の都合上、内訳の合計と計は必ずしも一致しない。

5 下水道未整備地域について

(1) 未整備地区の整備状況

(令和5年度末)

区 分	中川区、港区の 庄内川西部地区	守山区の 志段味地区	緑区の一部地区
当年度整備面積 (ha)	8	2	2
処 理 面 積 (ha)	1, 7 1 8	8 0 5	3, 6 1 9
計画処理面積 (ha)	1, 8 2 4	1, 0 0 5	3, 6 3 4
面積普及率 (%)	9 4. 2	8 0. 1	9 9. 6
処 理 人 口 (人)	1 0 5, 2 0 0	3 0, 3 0 0	2 4 6, 0 0 0
行 政 人 口 (人)	1 0 7, 6 0 0	3 8, 1 0 0	2 4 7, 4 0 0
人口普及率 (%)	9 7. 8	7 9. 5	9 9. 4

(注1) 緑区には未整備地区が点在しているため、表記は「緑区の一部地区」としているが、数値は緑区全体のものを表示している。

(注2) 処理人口、行政人口については、100人単位としている。

(2) 下水道整備が遅れている主な理由、対応及び該当地区

主 な 理 由	対 応	該 当 地 区
土地区画整理事業の道路整備と同調して整備する必要があるため	事業時期について土地区画整理組合と整合を図りながら整備を進める	・ 中川区、港区の庄内川西部地区 ・ 守山区の志段味地区
都市計画道路事業と同調して整備する必要があるため	事業時期について関係部署と整合を図りながら整備を進める	・ 緑区の一部地区
公私境界を確定する必要があるため	地元に対し説明をし、相談に応じることなどにより、地権者全員による土地の所有権の境界について合意を促し、公私境界の確認が完了している場所から整備を進める	・ 中川区、港区の庄内川西部地区
私道に下水道管を布設せざるを得ない状況のため	私道に下水道管を布設することについて、地権者全員の合意を促し、地上権を設定したのち、整備を進める	・ 緑区の一部地区